

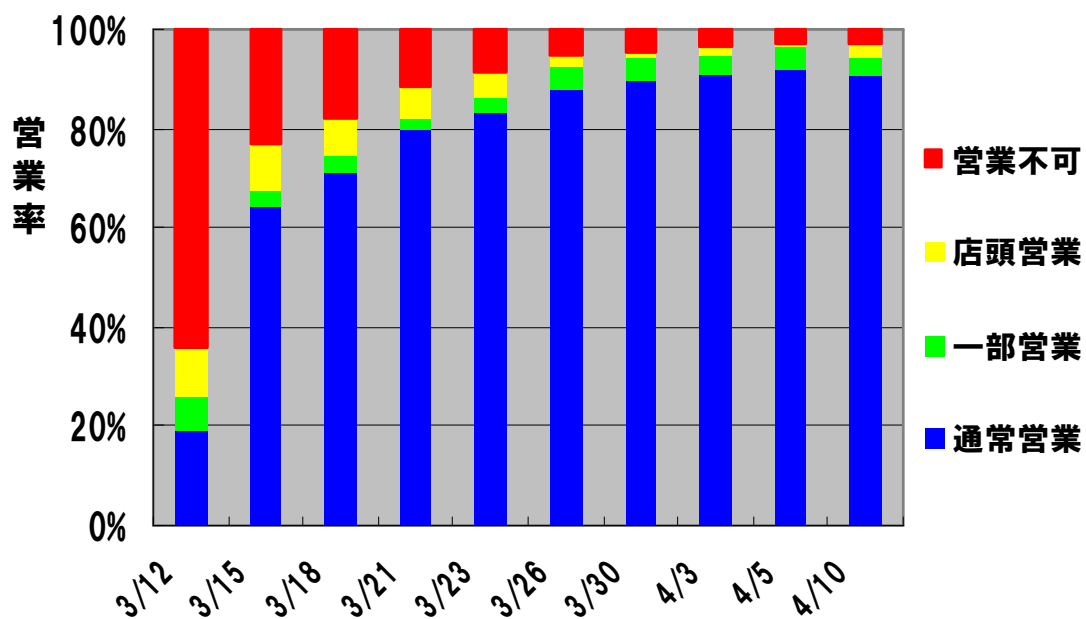
## 震災後1ヵ月の現況報告（4月12日）

2011年3月11日、東日本大震災で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。

### 【店舗の開店状況】

東北地区では震災直後、449店舗のうち約35%の店舗しか営業が出来ないほど、大きな被害を受けました。しかし、翌々日の13日には約70%の店舗が、店頭販売など何らかの形で営業を再開。店頭販売から、一部営業、全館営業へと再開への努力を続けました。その後2週間後の3月25日には約95%が営業を再開。

被災より約1ヶ月、被災地では多くの方々の支援により復興が急ピッチで進み、イオンの店舗においても4月11日現在、約97%の店舗で営業再開するまでに回復しております。4月7日23時に宮城県沖を震源地とする震度6強の地震、さらに11日17時には福島県浜通りを震源とする震度6弱の地震が発生しました。これら度重なる大きな余震により、一時停電などの影響はありましたが、イオンの店舗や従業員、そしてお客さまへの被害は、特にありませんでした。



### 【がんばろう 日本！黄色いレシートキャンペーン】

イオンでは、4月8日から4月12日までの5日間、「がんばろう 日本!」を合言葉に、全国のイオン・イオンモール・イオンショッピングセンターと専門店街が一斉にセールを開催。このセールは、“お買い物を通して日本を元気にしたい”そして“お客さまとともに支援の輪を日本全国に広げ、被災地の皆さまを応援していきたい”との思いから実施したものです。セール期間中の売上が直営店・専門店ともに2ケタを超えるなど、多くのお客さまで賑わいました。



### 【がんばろう ふくしまフェアの様子】

福島市内のイオン福島店では、4月7日より福島県やJAグループ福島と協力し、県内の農家を応援する「がんばろう福島 農産物応援セール」を開催。また翌8日からは、イオンが全国で展開する「がんばろう日本」復興支援セールと「がんばろう福島 黄色いレシートキャンペーン」を実施しました。

福島県産の農産物を買求めるお客さまで賑わうイオン福島店。



7日の午後、瀬戸福島市長をはじめ、県やJAの代表者、地元お笑い集団「みちのくボンガーズ」のメンバーらがイオン福島店に駆けつけ、県から安全宣言が出された福島県産の野菜や果物の安全性についてPR。

### 【黄色いレシートキャンペーン】

セール期間中、東日本大震災復興支援として、毎月11日の「イオン・デー」に実施している「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」特別版を5日間同時開催しました。これは、お買い物の際にお客さまにお渡しする黄色いレシートを、店内に設置された専用BOXに投函していただくと、お買い上げレシート合計金額の1%をイオンが拠出し、震災復興支援に活用させていただくもの。専用BOXは、多くのお客さまからのあたたかいお気持ちの詰まったレシートであふれていました。



4月8日（金）から全国のイオンの店舗・事業所計約7,000ヶ所で実施された「黄色いレシートキャンペーン」。(上：イオン福島店、下：イオンレイクタウン店)

